

Rhode Island School of Design

ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン美術館所蔵

ロックウェラー・コレクション

花鳥版画展 北斎、広重を中心に

Bird-and-Flower Prints from the Abby Aldrich Rockefeller Collection of the RISD Museum: Featuring Hokusai and Hiroshige



2026年6月13日(土) — 7月26日(日)

歌川広重《月に雁》中短冊  
判錦絵 天保3-6(1832-35)  
年頃 RISD美術館蔵  
Courtesy of the Museum of  
Art, Rhode Island School of  
Design, Providence Gift of  
Mrs. John D. Rockefeller, Jr.

休館日／月曜日(ただし7月20日は開館)、7月21日(日) 開館時間／9:30-17:00(入館は16:30まで)

観覧料／一般1,200円(1,000円) 学生1,000円(800円) 高校生以下無料

※( )内は前売および20名以上の団体割引料金 ※この料金で、「美術館のコレクション」、柳原義達記念館もご覧いただけます。

※生徒、学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。 ※障害者手帳等(アプリ含む)をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。

※教育活動の一環で県内学校(幼・小・中・高・特別支援)および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。

※毎月第3日曜の家庭の日(6月21日、7月19日)は団体割引料金でご覧いただけます。 ※主な前売券販売所:チケットぴあ、ファミリーマート、セブン-イレブンほか

主催／三重県立美術館 助成／美術館連絡協議会、読売新聞社、公益財団法人岡田文化財団、公益財団法人三重県立美術館協力会 協力／日本航空

三重県立美術館  
Mie Prefectural Art Museum

四季の移ろいの中で、美しく咲く花や、生き生きと羽ばたく鳥たち。こうした生命の輝きを描く「花鳥画」は、古くから日本の絵画において重要な位置を占めてきました。葛飾北斎(1760-1849)や歌川広重(1797-1858)ら浮世絵師が活躍した江戸時代になると、浮世絵の主題としても発展・定着し、「花鳥版画」として広く親しまれるようになりました。

米国ロードアイランド州に位置するロードアイランド・スクール・オブ・デザイン(通称・RISD)の附属美術館には、花鳥版画が大半を占める「ロックフェラー・コレクション」が所蔵されています。名門ロックフェラー家の一員、アビー・オールドリッチ・ロックフェラー(1874-1948)によって収集・寄贈された同コレクションは、浮世絵の中でも、役者絵や風景画、美人画ではなく、花鳥版画を中心に据えた点で世界的に珍しい存在です。それは、日本文化を愛したアビーが20年の歳月をかけて丁寧に築いたものです。彼女はこれらの作品を身近に置き、日々の暮らしの中で大切に慈しみました。

本展では、同コレクション約700点から厳選した163点を通じ、時代や国境を超えて愛された花鳥版画の世界を公開します。日本では35年ぶりの公開となり、多様な花鳥版画を一室に鑑賞することができる貴重な機会となります。ぜひご覧ください。



左/歌川広重《雪中椿に雀》大短冊判錦絵 天保3-6(1832-35)年頃 中上/伊藤若冲《雌雄鶏図》木版彩色摺 江戸時代 中下/葛飾北斎《露草に鶏》団扇絵判錦絵 天保3(1832)年頃 右上/葛飾北斎《「鸞垂桜」》中判錦絵 天保5(1834)年頃 右下/歌川広重《烏瓜に目白/芍薬に小鳥》中短冊判錦絵(2図分) 天保3-6(1832-35)年頃 すべてRISD美術館蔵  
Courtesy of the Museum of Art, Rhode Island School of Design, Providence Gift of Mrs. John D. Rockefeller, Jr.



**〔関連イベント〕**

※手話通訳、要約筆記その他支援の必要な方は、2週間前までにご相談ください。

**記念講演会「アビー・ロックフェラーが愛した花鳥版画  
その魅力と江戸の出版文化」**

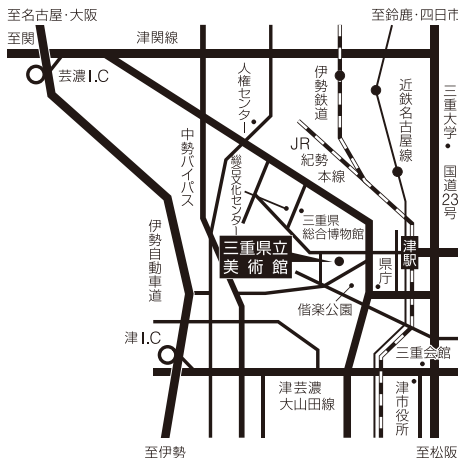
講師:田辺昌子(国際浮世絵学会常任理事)  
日時:6月13日(土) 14:00~15:30(13:30開場)  
会場:美術館講堂 ※会場に直接お越しください。  
定員:140名(当日先着順)/参加無料

**担当学芸員によるギャラリー・トーク**

日時:6月28日(日)、7月18日(土) 14:00-(約30分)  
会場:企画展示室 ※展示室入口にお集まりください。  
参加無料(展示室に入るため、観覧券が必要です)

**〔次回企画展〕**

**アルバール・マルケ展** 2026年8月8日(土)~9月13日(日)



**交通案内**

津駅(近鉄・JR)西口より徒歩約10分。または、津駅西口1番のりばより三重交通バス「西団地循環」、「津西ハイタウン行き(むつみ・つつじ経由)」、「夢が丘団地行き(総合文化センター前経由)」、「総合文化センター行き」のいずれかに乗車約2分、「美術館前」下車徒歩約1分。駐車場もごさいますが、できる限り公共交通機関をご利用ください。



**三重県立美術館  
Mie Prefectural Art Museum**

〒514-0007 三重県津市大谷町11  
TEL:059-227-2100 FAX:059-223-0570  
<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>  
Follow us on X @mie\_kenbi

